

作成日 2013年09月27日

改訂日 2019年02月26日

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

### 1.1 製品特定名

ポリプロピレンフィルム "トレファン"

2248, 2500, 2535, 2548, 2570, 2578, 2598, 2595, 2748, S648, YT12, YT22, YT42, YT44, YT52, YT54, YT62, YM11, YM17, YM18, YMS1, YM52, YM62, B128, B129, B220, Y333, Y522, Y562, M304, N513, W113, 2562, 2572, 2873, 257C, 257K, W114, 2525, 2501, KY03, 2545, 2502, TL82

(サブタイプ付き品種を包含する)

### 1.2 他の特定手段

整理番号(SDS No.) F3J-CA0A0AFPH030-6

### 1.3 製品の推奨用途と使用上の制限

#### (1) 推奨用途

工業用途全般、包装用途全般

#### (2) 使用上の制限

成型品(アティクル)としてのみ使用すること

### 1.4 供給者の詳細

- |                 |   |
|-----------------|---|
| (1) 会社名         | 東レ株式会社  |
| (2) 住所          | 東京都中央区日本橋室町2-1-1  |
| (3) 責任部署・担当部署   | 工業材料事業部第2部  |
| (4) 責任者・担当者     | 工業材料事業部第2部長   |
| (5) 電話番号        | 03-3245-5528  |
| (6) FAX番号       | 03-3245-5543  |
| (7) メールアドレス・URL | <a href="http://www.toray.jp/films/">http://www.toray.jp/films/</a> |

### 1.5 緊急電話番号 03-3245-5528

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1 化学物質または混合物のGHS分類

本製品は成形品(アティクル)であり、JIS Z 7252:2014(GHSに基づく化学物質等の分類方法)による分類の対象外である。

### 2.2 GHSラベル要素

対象外。

### 2.3 GHS分類に該当しない他の危険有害性

情報なし

### 2.4 重要な徴候および想定される非常事態の概要

情報なし

## 3. 組成、成分情報

(1) 製品の区分 成形品(Article)

### (2) 組成・成分情報

#### A. 成分物質

化学名	ポリプロピレン
含有量(%)	60
化学特性(化学式又は構造式)	$[-CH_2-CH(CH_3)-]_n$
CAS No.	9003-07-0
化審法番号	(6)-402
安衛法番号	(6)-402
TSCA	あり

化学名 エレン・ブレンの共重合体

含有量(%)	40
化学特性(化学式又は構造式)	$[-CH_2-CH(CH_3)-]_n[-CH_2-CH_2-]_m$
CAS No.	9010-79-1
化審法番号	(6)-10
安衛法番号	(6)-10
TSCA	あり
化学名	イソ・プロピレン・ブテン共重合体
含有量(%)	40
化学特性(化学式又は構造式)	$[-CH_2-CH(CH_3)-]_n[-CH_2-CH_2-]_m[-CH_2-CH(C_2H_5)-]_l$
CAS No.	25895-47-0
化審法番号	(6)-1523
安衛法番号	(6)-1523
TSCA	あり

#### 4. 応急措置

##### 4.1 必要な応急措置の説明

吸入した場合：

高温加工時に発生する分解ガスを吸入して気分が悪くなった場合、新鮮な空気のある場所に移動させる。

気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受けること

皮膚に付着した場合：

高温加工物が触れた場合は、直ちに大量の水で冷却すること。

目に入った場合：

コンタクトレンズを使用している場合は、取り除いて洗浄を続ける。

目をこすらせてはならない。

異常を感じたら、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

吐かせる。

事故又は不快感を覚えたときは、直ちに医師の診断を受ける。

##### 4.2 最も重要な急性症状および遅発性症状

情報なし

##### 4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

情報なし

#### 5. 火災時の措置

##### 5.1 適切な消火剤および使ってはならない消火剤

###### (1) 適切な消火剤

霧状水 / 棒状水 / 泡 / 粉末 / 炭酸ガス

周辺の状況に適した消火剤を使用する。

###### (2) 使ってはならない消火剤

情報なし。

##### 5.2 製品から生じる特有の危険性

燃焼の際に生成する有毒なフュームまたはガス(一酸化炭素 / 刺激性で有害性の強いガス)

火災のときは大量の黒煙が発生する。

不完全燃焼すると濃い煙が発生する。

##### 5.3 特有の消火方法

安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること。

移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出すること。

消火活動は、離れた風上から行うこと。

関係者以外は安全な場所に退却させること。

#### 5.4 消火を行う者の特別な保護具と予防措置

消火活動従事者は保護具(耐熱手袋 / 消防服 / 保護面 / 自給式呼吸器)を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### 6.1 人体に対する注意事項、保護具、および緊急時措置

状況により、手袋・眼鏡・マスクなどの保護具を着用すること。

#### 6.2 環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

#### 6.3 封じ込めと洗浄のための方法および機材

粉塵が飛散しないようにする。

注意して掃き集め、除去する。

#### 6.4 二次災害の防止策

付近の着火源となるものを取除くこと。

### 7. 取扱いおよび保管上の注意

#### 7.1 安全な取扱いのための注意事項

##### (1) 技術的な対策

##### A. 取扱者の暴露防止

加工時に粉塵が発生する場合は、粉塵を吸入しないこと。

高温加工する場合は、分解ガスを吸入しないこと。

##### B. 火災・爆発の防止

フィルム帯電による静電気放電に対する予防処置をすること。

##### (2) 局所換気・全体換気

加工時に粉塵が発生する場合は、換気を良くすること。

高温乾燥、高温加工する場合は、ガスが発生するため、換気を良くすること。

局所排気装置を設置することが望ましい。

##### (3) 注意事項

加工時に粉塵が発生する場合は、粉塵の堆積を防止すること。

高濃度の粉塵は、粉塵爆発のおそれがある。

##### (4) 安全取扱い注意事項

乱暴な取扱いや落下をさせてはならない。

高温の樹脂には手を触れない。

フィルムの切断部が鋭利となり、負傷する可能性がある。

扱いによって割れるか剥がれる危険があり、この際に破片で負傷する可能性がある。

##### (5) 適切な衛生対策

情報なし

#### 7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

##### (1) 技術的な対策

情報なし

##### (2) 適切な保管条件

直射日光を避け、水や塩基と接触の恐れのない場所に貯蔵すること。

##### (3) 避けるべき保管条件

熱から離して保管すること。

着火源から離して保管すること。

結露させないこと。

##### (4) 安全な容器包装材料

特に指定される容器はない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 8.1 管理パラメーター

情報なし。

### 8.2 適切な設備対策

静電気による放電を防止するため、適宜除電気を設ける。

高温で乾燥、加工する場合はガスが発生するので局所排気などを設置する

### 8.3 個人保護具

#### (1) 呼吸器用の保護具

通常の状態では呼吸保護具は必要としないが、加工時に粉塵が発生する場合は検定付きの防じんマスクを使用すること。

呼吸保護具の選定と使用を行う前に専門家の助言を求めること。

高温で乾燥、加工する場合は、ガスが発生するので有機用ガスマスクを着用すること。

#### (2) 手の保護具

通常の状態では保護手袋は必要としないが、形状が鋭利な場合は、適宜保護手袋を着用すること。

高温で取扱う場合は、適宜耐熱手袋等を着用すること。

#### (3) 目の保護具

通常の状態では目の保護具は必要としないが、加工時に粉塵が発生する場合や形状が鋭利な場合は、適宜保護眼鏡または安全ゴーグルを着用する。

#### (4) 皮膚及び身体の保護具

通常の状態では皮膚および身体の保護具は必要としないが、形状が鋭利な場合や高温状態で使用する場合は、長袖の作業着を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 9.1 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

#### 【物理的状态】

形状：固体

色：無色

臭い：無臭

#### 【物理的状态が変化する特定の温度 / 温度範囲】

融点 / 凝固点：160 ~ 165

比重（相対密度）：0.91

自然発火温度（発火点）：400 ~ 500

引火点：340 ~ 400

### 9.2 その他の情報

情報なし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 安定性

予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。

### 10.2 反応性

予期される通常の保管および取扱いの条件において危険有害な反応はないと考えられる。

### 10.3 避けるべき条件

情報なし

## 11. 有害性情報

### 11.1 製品の有害性情報

既知の重大な危険有害性はない。

## 12. 環境影響情報

### 12.1 製品の環境影響情報

情報なし

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄方法

本製品は廃プラスチック類として、廃棄物処理法及び自治体条例に従って適切に廃棄処分すること。  
廃棄物の処理を委託する場合、廃棄物処理業者等に危険性、有害性を告知の上、処理を委託すること。

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 輸送上の国内規制

陸上輸送	該当しない。
海上輸送	該当しない。
航空輸送	該当しない。

### 14.2 輸送上の安全対策及び条件

梱包ケースが破損しないように、水濡れおよび乱暴な取扱いを避けること。

## 15. 適用法令

廃棄物処理法  
廃プラスチック類

消防法（合成樹脂類）  
ポリプロピレン樹脂（指定数量：3000kg）

海洋汚染防止法  
施行令別表1-2有害でない物質

## 16. その他の情報

### 最新版改訂日と変更箇所

改訂日 2019年02月26日

改訂項目 JIS Z 7252：2014への改訂に準じて、SDS記載内容を改訂した。

### 引用文献

「製品安全データシートの作成指針(改訂版)」

日本化学工業会（厚生労働省，経済産業省，環境省監修）(2001)

化学品の分類および表示に関する世界調和システム 改訂初版 国際連合(2005)

JIS Z7253：2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

JIS Z7252：2014 GHSに基づく化学物質等の分類方法

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

また、すべての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。なお、本記載内容は情報提供であって、当社の提供する材料について、如何なる明示または黙示の保証をするものでもありません。

フィルムは各国法規制において成形品（アーティクル）として取り扱われるため、申請が不要であります。粉砕・溶解・溶融等で素材に戻す等、成形品（アーティクル）以外の使用をした場合には、免除対象から外れる可能性があります。